

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		准看護学校事業助成				所管	健康部 健康課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和51年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	下谷医師会立看護高等専修学校補助金交付要綱等					
	事業対象	下谷医師会立看護高等専修学校運営							
	事業目的	看護師不足の解消と地域医療に貢献する看護師の定着を図り、区民の保健衛生の向上を目的として、学校運営経費の一部を助成する。							
	事業内容	看護高等課程准看護師の育成のため、学校の運営経費及び校外指導費の一部を助成する。 定員1学年 40名 2学年40名 総定員80名							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	修了者数 (人)		40	34	38	33		
		資格取得者数 (人)		40	34	38	33		
	成果指標	区内就業者数 (人)		10	3	4	9		
	決算額 (単位：千円)				4,080	4,080	4,080		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				900	666	511	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				0	0	0	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				4,080	4,080	4,080	
		総経費				4,980	4,746	4,591	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
	一般財源 (区負担額)				4,980	4,746	4,591		
前年度から改善した事項	下谷医師会立看護高等専修学校校外研修事業に対する補助金と統合すると共に、交付要綱改正の際に補助対象事業内容を更に明確化した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	台東区の高齢化率は他区に比べ高いことから、看護師の需要は高く、区内唯一の准看護師養成施設を支援することは、地域医療の充実を図るうえで必要である。						
	効率性	3	学校の運営規模等に大きな変化はない。						
	手段の適切性	3	安定した学校運営により、地域医療に貢献する看護師を育成するには、有効な手段である。						
	目的達成度	3	区内就業者数は若干ではあるが、増加傾向にある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性			
近隣区には同様の学校がなく、本区を中心としたエリアの潜在的な需要は多い。区内唯一の准看護学校として、教育環境の維持向上及び医療の高度化に対応した人材の育成・確保のため引き続き助成を行い、卒業生の中から一人でも多く区内就業に繋がられるよう対策の検討を今後も学校へ働きかけていく。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		